

ひらかた高齢者保健福祉計画21 (第10期)の策定に向けて

1. ひらかた高齢者保健福祉計画21とは

① 計画の位置づけ

- ・老人福祉法第20条の8の規定に基づく「老人福祉計画」
- ・介護保険法第117条の規定に基づく「介護保険事業計画」
を一体的に策定
- ・共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づく
「認知症施策推進計画」を包含

NEW

② 第10期の計画期間

令和9年度から令和11年度までの3年間

1. ひらかた高齢者保健福祉計画21とは

③ 計画策定の趣旨

- 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みを作り上げていくための方向性をまとめたもの。
- 計画期間における介護給付等対象サービスや地域支援事業の必要量の見込み、また介護保険施設等の整備数について定めるとともに、これらサービス提供の財源となる介護保険料の算定を行う。



国から順次示される**基本指針**等に基づき策定

2. 第10期計画に係る基本指針の基本的な考え方

令和7年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（令和8年3月11日）

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、介護と医療の複合ニーズを抱える85歳以上人口、認知症高齢者、独居の高齢者等の増加と同時に、生産年齢人口の減少が見込まれることから、中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて、医療・介護の一層の連携、介護人材の確保など、地域包括ケアシステムを深化させるための具体的な取組や目標を定めることが重要となる。

2. 第10期計画に係る基本指針の基本的な考え方

令和7年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（令和8年3月11日）

（１）介護サービス提供体制の計画的な整備

- （ア）地域の実情に応じたサービス提供体制の整備
- （イ）在宅サービスの充実

ポイント

- （ア）地域の中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉え、第10期計画における施設サービス、居住系サービス、地域密着型サービスをバランスよく組み合わせて、介護サービス提供体制を計画的に確保していく必要がある。
- （イ）要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスについて、地域の実情に応じて普及を検討し、整備に取り組むことが重要である。

2. 第10期計画に係る基本指針の基本的な考え方

令和7年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（令和8年3月11日）

（2）地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

ポイント

地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で高齢者自身が自立して日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を引き続き進めていく必要がある。

2. 第10期計画に係る基本指針の基本的な考え方

令和7年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（令和8年3月11日）

（3）地域包括ケアシステムを支える 介護人材及び介護現場の生産性向上

ポイント

生産年齢人口の減少が加速するとともに、高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えつつ、「介護離職ゼロ」の実現に向けた介護サービス基盤の整備に伴って必要となる人材の確保に向け、総合的な取組を推進することが重要である。

多様な人材の確保・育成、離職防止・定着促進・生産性向上、介護職の魅力向上などを総合的に実施することが重要である。

3. 第9期計画の実績・アンケート結果から 見えてきたことと第10期計画への反映案

(1) 介護サービス提供体制の計画的な整備

第9期計画の実績・アンケートから見えてきたこと

【今後の意向】在宅希望者が多い（アンケート③p.72、④p.47）

【課題】単身世帯の増加・仕事と介護の両立（単身世帯：アンケート①③④において令和4年度より増、仕事と介護：②p.31）

第10期計画への反映案

要介護者の在宅生活を支えるサービスの整備を検討

3. 第9期計画の実績・アンケート結果から 見えてきたことと第10期計画への反映案

(2) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

第9期計画の実績・アンケートから見えてきたこと

- 【課題】 ① 認知機能や社会的役割の低下(アンケート①p. 80, p. 88)
無関心層へのアプローチ(アンケート③p. 44)
② 教室等までのアクセス(各課実績)
運営側の担い手不足(各課実績)

第10期計画への反映案

総合事業の充実に向けた、地域住民の主体的な活動や
地域の多様な主体の参入促進

3. 第9期計画の実績・アンケート結果から 見えてきたことと第10期計画への反映案

(2) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

第9期計画の実績・アンケートから見えてきたこと

【課題】 単身世帯の増加

【必要と思うサービス】 緊急時対応、見守り、入退院支援
(アンケート③p.74,④p.53)

第10期計画への反映案

頼れる身寄りがいない高齢者等の生活ニーズへの対応

3. 第9期計画の実績・アンケート結果から 見えてきたことと第10期計画への反映案

(3) 地域包括ケアシステムを支える介護人材及び 介護現場の生産性向上

第9期計画の実績・アンケートから見えてきたこと

【課題】① 地域包括支援センターや介護サービス事業者の
業務負担の増加（各課実績）

② ケアマネジャーのシャドウワーク（各課実績）

第10期計画への反映案

労働環境・処遇の改善等の介護人材確保に向けた取組を
大阪府と連携し、広域的に推進